

私と鶏の10年

株式会社岩手ファーム 奥寺 廣夢さん



農業高校で畜産動物について専門的に勉強した奥寺さん。元々動物好きであり、卒業後は畜産に関わる仕事がしたいと考えていました。その際に高校の求人で見つけた現在の会社を知り、今に至っています。入社から10年が経ち、今では中堅の立場です。様々な部署を回って得た経験を活かして、若手社員の先駆けとして頑張っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

当社は養鶏業を営む企業で、鶏を雛から育てて採卵しているのが大きな特徴です。私はその中で、鶏の飼育管理や採卵業務を行っています。おいしい卵をつくるには、鶏が健康に生きられる環境を整えることが大切です。生産部はその中核を担っています。鶏舎の温度調整や給餌は自動化されているため、主な仕事は鶏舎の異常チェックや清掃、機械の整備となります。また、生産日報による鶏の状態管理も行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

現在の会社に入社した大きなきっかけは、農業高校に進学し、牛・豚・鶏といった畜産動物について自分の手で触れながら勉強したことでした。高校では、食肉として出荷するブロイラーを飼育したり、自分で飼育した子豚を食べたり、貴重な体験をしました。そこで、家畜という“人に食べられる”役目を持つ動物から命のありがたみを学び、その生涯に興味を持ちました。今も命を扱っていることを心に留めながら仕事をしています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社の建物が岩手山の近くにあるため、四季折々の自然を感じながら仕事ができるのが魅力です。このような環境でつくられる卵は自慢できるほどおいしいと感じます。実際に好んで購入して下さる方もおり、家族や地域の人から声をかけてもらえるのが嬉しいです。また、社員の年代が幅広いため、仕事以外にもたくさんのことを学べるのが良いところだと思います。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社4年目のとき、一部の農場で多くの鶏が熱死してしまったことがありました。漏電による換気扇システムの停止が原因でしたが、当時の自分には衝撃的な出来事でした。その時に感じたのは「機械だから安心な訳ではない」ということです。自動化されているからこそ異常時に大きな損害を出す可能性があり、最終的には人間の目でしっかり確認する必要があります。毎日の業務に責任を持ち、疎かにしないのが大切だと学びました。

Q. これからの目標を教えてください。

第1次産業に携わる人が減ってきている中で、若者たちが「この会社に入りたい」と思えるためにはどうしたらよいかと常日頃考えています。命を育てるという私たちの仕事は決して華やかなものではなく、汚い部分も多いです。そのマイナス面を払拭し、やりがいや楽しさを知ってもらうために仕事の魅力を発信していきたいというのが私の目標です。また、今在籍する人に対してもさらに働きやすくなるように、世代間の架け橋のような存在になれればと思っています。

インタビュー：株式会社岩手ファーム 櫻田 雛

株式会社岩手ファーム

〒028-4134 盛岡市下田字生田731-7

URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

精密な腕時計づくりのため日々努力を積み重ねる。
盛岡セイコー工業株式会社 吉田大輝さん



矢巾町出身の吉田さん。地元の高校を卒業後、工業系技術を学ぶため産業技術短期大学校へ入学し、モノづくりについて2年間学びました。その後、地域の産業を支えたいという思いから、2017年現在の会社に入社し、3年が経過しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

NC工作機械のマシンオペレーター兼検査員です。主に製造しているのは、機械式腕時計の地板体という部品です。地板体という部品に数百種類の部品を組み込んでいくため、地板体は機械式腕時計のベースとなる部品です。そのため精度には特に注意して業務を行っています。また、最近では私が担当している業務を後輩へと指導しています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

弊社の腕時計の精度は世界トップクラスを誇っています。そのため想像以上に製品の「公差」が厳しいというのを入社したての頃に感じました。よって、私たちの業務には正確な精度管理が求められています。最初は仕事に関して何もわからず、先輩や上司に迷惑をかけてしまうことが多々ありました。その都度丁寧に教えてくれる先輩・上司にアドバイスをもらったことで、少しずつですが技術を身につけることができ、今は入社した時よりも自信をもって働くことができています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社1年目の冬に新製品の立ち上げを行ったことが印象に残っています。それまで行っていた業務内容とはギャップが大きくあり、さらに高度な内容を要求されたときは苦労しました。しかし、私が担当している機械をより深く知ることができ、多くの技術を新しく身につける良い機会になったと今は思っています。

Q. これからの目標を教えてください。

周りから頼られる人材になることが目標です。もしもの時のサポートや広い視野でのアドバイスが行えるように業務の幅を広げていきたいです。でも今は、現在担当している業務の熟練度を高めて、よりレベルの高い業務を任せてもらえるように日々努力しています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動はとても緊張するものです。しかし、そこでいかに緊張せずに本来の自分を表現できるかがポイントだと私は思います。緊張しすぎてガチガチになってしまうとやりたいことやアピールがうまくできません。そのため適度な緊張感をもって就職活動に向かうことで自分を表現できると思うのです。また、学生のうちにいろいろな物事に挑戦することも必要だと思います。勉強も重要ですが、学生だからできることは他にもあるはず。様々な経験しておくことで社会に出てからも役立つことはたくさんあると思うので、何事にもチャレンジして欲しいです。

インタビュー：部品工房 部品加工職場 東 宏輝

盛岡セイコー工業株式会社
〒020-0596 岩手郡雫石町板橋61-1
URL <http://www.morioka-seiko.co.jp/>

岩手ファーム育雛場の未来!!

株式会社岩手ファーム 岩崎 祐司さん



岩手町の高校を卒業後、岩手県を出て宮城県の企業に就職しました。その後岩手県に戻り岩手町の企業に就職しました。そして23歳の時に現在の会社に就職し、育雛（いくすう）場に約9年、成鶏場に約9年、そして2020年から現在の農場長と入れ替わりで育雛場に戻り農場長として働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

育雛場の0日齢～60日齢の鶏(前期飼育)と60日齢～150日齢の(後期飼育)の飼育管理、器具・機材の修繕、鶏舎の洗浄、ワクチン接種、鶏の移動(前期飼育舎から後期飼育舎に移す)と出荷(後期飼育舎から成鶏舎への移動)などの仕事の確認や勉強をしながら仕事をしています。また農場長の仕事の引き継ぎを受けています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

営業をやるよりは農作業などの体を動かす仕事がやりたいと考えていました。おじが岩手ファームの社員として働いており、そのおじに紹介してもらいました。前の企業よりも条件がよく地元の評判もよく、安定していて有名な会社だと聞いていたため入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

岩手ファームのは約200万羽以上の成鶏を飼育しています。企業の規模的には日本の養鶏で10本の指に入るぐらいに大きな会社です。大きい養鶏は関東に集中しているのですが、関東は鶏に不利な環境です。一方、岩手県の気候は鶏に対してとても良い環境です。そこで飼育された鶏の卵の質が良いのが岩手ファームの卵の特長です。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

約9年間育雛場の前期飼育で働いていました。そこで育雛のことを仕事として働いていた上司に『鶏の一生は入雛してから1週間で決まる』と教わりました。この1週間できちんと飼育してない鶏は病気になりやすくなったり、産卵率が下がったりなどと卵を産むサイクルで問題が起きることが多いです。この言葉を意識して飼育していたため、成鶏では病気などがほとんどありません。その上司のもとで勉強できたのがとても印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

以前よりも前期飼育の成績と管理羽数を上げたいです。そのためには従業員のレベルアップが不可欠です。育雛場は岩手ファームの土台となる部署なので、農場長として人のまとめ方を向上させたいです。

インタビュー：生田 勇斗

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生田731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

先輩から技能を受け継ぎ、次世代の担い手に！
盛岡セイコー工業株式会社 佐々木 剛毅さん



盛岡市内の中学校から、盛岡工業高校定時制へ進学。陸上で全国大会に出場するなど、部活動にも打ち込みました。アルバイトも経験しながら社会経験を積み、自分の好きな腕時計を製造している盛岡セイコー工業に入社しました。今では職場の次世代を担う戦力になれるよう日々努力しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

部品S A職場で機械式時計の部品組立準備をしています。準備作業とは、次工程の時計組立職場ですぐ組立られるようにすることです。例えば「番車」は、「真」と「歯車」の二部品で出来ています。このような部品を機械と手作業で製作します。私はこの職場で、「てんぐ受」という部品を担当しています。「てんぐ受」は、受本体の他に、7～14個の構成部品があり、それらを機械と手作業で完成させる仕事です。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校2年生の頃、企業見学に訪れた際に、部品の製作から組立まで一貫して製造していること、またそれらを職人の方々が一つ一つ手をかけて製作していることにとても感銘を受けました。私は時計が好きなのでこの会社自体は以前から気にかけており、手に職を付けることへの憧れと、両親の勧めもあり、自然とこの会社を志望することになりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

私が現在の職場に配属された当初はわからないことだらけでした。元々手先の器用さには自信があったので、作業に慣れるのは早かったですが、仕事を進めていく上で職場の方々とコミュニケーションに不安がありました。そんな中でも職場の先輩や上司の方々がコミュニケーションをとってくださったおかげで職場の雰囲気にも馴染むことが出来ました。今では職場の中で、先輩が出来たり、同期の人と切磋琢磨しながら仕事に打ち込めるいい雰囲気の職場だと感じています。

Q. これからの目標を教えてください。

将来的には、職場内の全ての仕事をできるようになることです。先輩社員の方々から技能を伝承し、自分の持つ仕事をもっと幅広くしていきたいです。自分が伝承した技術を後輩へ伝承し、最終的に会社へ貢献していきたいと思っています。また、資格取得にも力を入れていきたいです。近い目標としては、いわて機械時計技能士評価の2級取得、時計修理検定2級の取得を目指して日々実技試験の練習と学科試験の勉強に励んでいます。

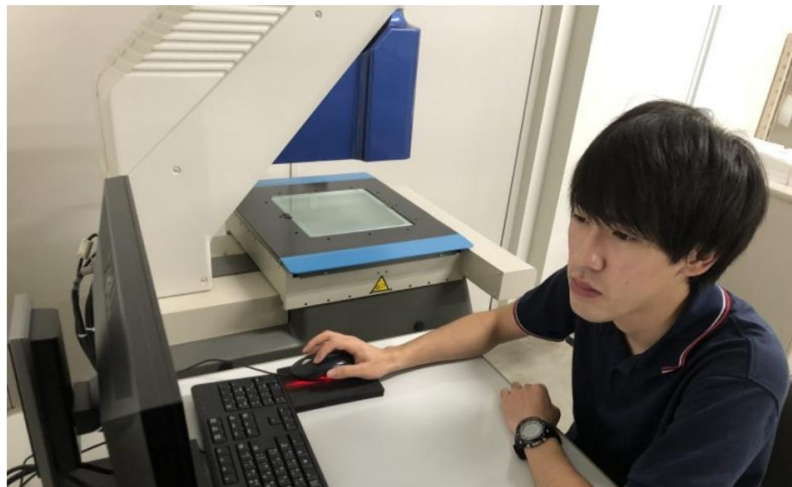
Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

学生時代に勉強や、専門的な知識を得るのも大事ですが、アルバイトをして、働くことの大変さやお金の大切さを学ぶことが大事だと思います。また、実際に企業に足を運んでみてその企業の雰囲気を感じたり、本当に自分がやりたいことなのかを考えることが大切です。自分が毎日その仕事をして、日々やりがいや楽しさを感じることができる仕事を選択するべきだと思います。

インタビュー：部品工房 部品加工職場 石井 航大

盛岡セイコー工業株式会社
〒020-0596 岩手郡雫石町板橋61-1
URL <http://www.morioka-seiko.co.jp/>

岩手県に学んだモノづくりで恩返し！
盛岡セイコー工業株式会社 東 宏輝さん



大船渡市出身の東さん。地元の高校を卒業後、工業系技術を学ぶため産業技術短期大学校へ入学し、モノづくりについて2年間学びました。その後、岩手県に恩返しをしたいという思いから、現在の会社に入社し、3年が経過しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

NC工作機械のマシンオペレーターです。主に製造しているのは、機械式腕時計の地板体という部品です。地板体という部品に数百種類の部品を組み込んでいくため、地板体は機械式腕時計のベースとなる部品です。そのため精度には特に注意して業務を行っています。また、最近では私が担当している業務を先輩へ指導しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

弊社に入社したきっかけは、高校と短大で5年間学んだ事を生かして行きたいことと、東日本大震災で被災し、岩手県から多大なる援助を受けたので、そのご恩を少しでも返して行きたいと考え岩手県内で就職活動していました。高校時代に弊社に工場見学をしていてその際に腕時計作りに興味を引かれ、就職活動中に再び弊社の工場見学に参加し、さらに興味が湧きそこから弊社を調べ自分の力を生かしていけると思い入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

弊社は腕時計を製造していて精度は世界トップクラスです。その精度を生み出しているのは部品一つ一つの精密さともいえると思います。私が現在している仕事は地板体と呼ばれる部品の製造です。この部品を作る際にはミクロン単位の精度が求められます。学生時代のものづくりでは、そこまでの精密さは求められていませんでしたが、入社してから部品を作る際に求められるレベルが高く感じました。また今ではその他にも業務内容が増え、精度の高さと業務の難易度が上がったと感じています。

Q. これからの目標を教えてください。

現在担当している業務の熟練度を高め、業務の第一人者になることが目標です。そのためには、今自分に不足しているところや知識を有識者から指導していただき、周りから担当している業務内容で困った際には頼られるような人材になりたいです。また、先輩などへの指導のレベルを上げたいです。どのような指導内容がその子にあっていくか適切に見極め、分かりやすく指導し職場のレベルアップに繋がっていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動中はたくさんの企業に触れてほしいと思います。視野を広く持ち企業の良い所を探して将来なりたい自分の姿をイメージして様々な就職先への選択肢を増やしてほしいです。また、勉強も大事ですがそのほかのことにも積極的に取り組んでほしいです。色々経験していくことで今後生かせることが出てくると思います。また、就職して離れてしまう友人達がいると思うので思い出をたくさん作ってほしいです。

インタビュー：吉田 隼人

盛岡セイコー工業株式会社
〒020-0596 岩手郡雫石町板橋61-1
URL <http://www.morioka-seiko.co.jp/>

自然豊かな岩手で働く。

株式会社岩手ファーム 西野 博樹さん



岩手町沼宮内出身の西野さん。実家が農家ということもあり、農業系の仕事に興味を持っていました。現在は鶏を育て、卵を生産する生産部で、農場長として現場をまもっています。登山や溪流釣りが趣味で、やさしい笑顔が印象的です。

Q. どのような仕事をしていますか？

大きく分けて3つある農場のうち、第二・第三農場の農場長として、2つの農場全体の管理を担当しています。何よりも大切なことは、安心・安全な卵をお客さまに届けることですが、そのために各農場の鶏舎の状況や、鶏の健康状態を把握し、農場全体がうまく機能するように調整を行っています。またみんなが働きやすい環境づくりも仕事の一つです。卵を作るためには、まずは人間が健康でなければいけません。職場のみんなの心と体の健康を大切に、生き生きと仕事ができる環境づくりを心がけています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

実家が農家ということもあり、農業や畜産は身近な存在だったと思います。高校は農業系ではありませんでしたが、自然や動物が好きで、卒業後は地元岩手の自然の中で仕事をしたいという思いがありました。子どもの頃に鶏を育てた思い出もあり、養鶏という仕事に興味を持ち入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

実際に入社して、私たちの会社は、自然との調和、地域社会との調和、人との調和を大切にする会社だと感じています。鶏を育てるだけでなく、会社周辺の緑化を進め、自然豊かな岩手を守る取り組み。また地元の農家の方々と連携することで、飼料米を作っていく循環型農業への取り組み。そして日本人だけでなく、ベトナムの方々など様々な国の人たちが共に働ける環境づくり。このような取り組みを進めており、岩手ファームの特徴ではないかと感じています。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

仕事をしていて、一番やりがいを感じる瞬間は、やはり岩手ファームの卵を買ってくださったお客さまからの手紙やファックスなどをいただいたときなど、お客さまの声を聞けたときです。岩手ファームでは、飼料米を食べたから産まれた米卵など、様々な種類の卵を生産しています。そのような私たちが生産したたまごが実際にお客さまのもとへ届き、美味しいと言っていただけたときは本当に嬉しです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

学生の皆さんは、学生という時間を大切にしてください。社会人になっても勉強は続いていきますが、多くの時間を勉強に費やせるのは学生の特権です。また多くの成果を出すことも大切ではありますが、何よりもなりたいたい自分を見つけ、その目標に向かって努力することが大切です。きっと皆さんのそのひたむきな姿勢を評価してくれる人たちが必ずいます。失敗を恐れず挑戦し続ける中で、自分自身の生き方や将来の方向性、ライフスタイルを見つけていけるはずです。

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

働きやすい職場をつくるために！
株式会社岩手ファーム 今野 由菜さん



県内の高校で器械体操部に入っていた今野さん。体力に自信があったため、高校卒業後は、体を動かす仕事の方が良いと思い、この会社に入社しました。今では、スーパーなどに出荷するたまごのパッキング工場の工場長を担っています。趣味はダンスです！

Q. どのような仕事をしていますか？

卵の選別と箱詰めの仕事をしています。また、工場長として人員管理や人員の教育、施設内外の整備、資材と卵の管理などしています。本社との会議にも参加し、こちらの部署と本社との情報共有をしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校の時に、就職相談員の方から、「この会社どう？」と勧められたことがきっかけです。卵が好きだったこともあり、会社を調べてみたところ、卵が実際にどういった経路でお店に並んでいるのか興味を持ち、この会社に入社しました。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

一つ目は、一般消費者から会社「とても美味しいです」「これからも頑張ってください」と書かれてある手紙が送られてきたことです。二つ目は、工場ならではのフォークリフトを扱うポジションを担当することになったことです。声をかけてもらった時は少し不安もありましたが、新しい仕事を任せてもらえることに、とてもワクワクしたことを覚えています。「自分を認めてもらえた」という嬉しさがありました。

Q. これからの目標を教えてください。

一緒に働いている社員が成長を感じられる職場づくりを目指しています。ベテランさんでも、新人さんでも、自分の成長を感じてほしいです。小さくても何か目標をもってもらい、仕事を苦痛に感じるのではなく、「今日も仕事頑張ろう！」という、私も経験したワクワクを少しでも感じてもらえるような職場にすることが目標です。

Q. 就活する学生へのアドバイスををお願いします。

どんな職種でも、新入社員としてゼロから先輩に教えてもらおうと思います。その際、納得いかないことや、葛藤がでてくるとはありますが、その会社があるのは、歴代の先輩達が築いてきたものがあるからです。どうしても納得いかず変えるべきだと思ったなら、会社のことをもっとよく知り、なぜその方が良いのかをしっかりとプレゼンする必要があります。この先会社を担っていくためには「勉強」「努力」「経験」が大切だと思います。自分がおこなった良いことも悪いことも、絶対に自分に返ってきます。必ずどこかで誰かが見てくれているので、自分の頑張りを認めてくれる人が絶対にいることを忘れず、つらいことを力に変えていけることを願っています。最後に、私が高校の恩師からいただいたことばを送ります。「いつも心に謙虚と野心を」。今になってやっとこの言葉が身にしみています。頑張ってください。

インタビューー：株式会社岩手ファーム 川崎 優菜

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

興味のある“時計”に関わる仕事で日々成長。
盛岡セイコー工業株式会社 柏田 亜衣里さん



盛岡の高校を卒業後、2016年に盛岡セイコー工業に入社した柏田さん。一人前の検査員になれるように日々努力しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

私の仕事は主に、成形されたプラスチック部品の外観検査、測定をしています。検査では、毎日顕微鏡を使用し、部品の製品チェックをし、不良を後工程に流さないように日々、業務に取り組んでいます。測定では工具顕微鏡や投影機などの測定器具を使用し、規格に従い測定を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

以前から時計に興味があり、企業訪問をした際に良い印象を受けました。また、人とコミュニケーションをとるのがあまり得意ではなかったため、工場勤務が向いていると思い、入社を決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

配属されて間もない頃、同年代がいなく、年上のベテランの先輩ばかりでした。そんな中で自分がやっていけるのかとても不安でしたが、先輩方は優しく丁寧に色々教えて下さいました。入社前は、工場勤務は人とのコミュニケーションが比較的小さいと思っていましたが、業務内外、様々な場面で先輩方との話し方や接し方を考え、工夫することで自分の成長にも繋がっていると感じます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社して1年目の時に、担当である部品の不良を見逃してしまったことがあります。その部品は後工程に流出してしまい、“クレーム”という形で返品になりました。返品になった製品を再確認した時に、分かりやすい不良特性だったこともあり、見逃してしまったことにとてもしばしい思いをしたのをよく覚えています。この時の気持ちを忘れることなく日々検査に取り組むようにしています。

Q. これからの目標を教えてください。

今は、普段の仕事の中でまだ初めて知ることもしばしばあります。そして一つの業務の中でもその中の一部しかできないこともあります。入社当時よりは出来ることも増えましたが、一通りの作業を出来るようになり、もっと頼られる人になることです。そのためにまず、周りの人を信頼し、人付き合いを大切にしていきたいです。

インタビュー：プレス課 プレス職場 田村 莉里奈

盛岡セイコー工業株式会社
〒020-0596 岩手郡雫石町板橋61-1
URL <http://www.morioka-seiko.co.jp/>

岩手ファームの魅力

株式会社岩手ファーム 杉村 香織さん



幼いころから動物の仕事に興味があった杉村さん。盛岡市内の高校を卒業後、この仕事に就きました。

Q. どのような仕事をしていますか？

雛の健康を管理する仕事をしています。雛に点眼し、少し大きくなった雛を育成舎に移動させます。その後、2人1組でワクチンを接種し、最後に成鶏になった鶏をたまごの集卵施設のある成鶏農場へ出荷します。ほかには、ワクチン準備や薬の在庫管理、時間があれば、飼育管理担当者の指示に従い、鶏舎内の作業をしています。鶏や雛の健康に注意を払い、安全に出荷するための重要な役割だと思っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

幼いころから動物が好きで、将来動物関係の仕事に就きたいと思っていました。入社前の会社見学で養鶏に関わる仕事に興味を持ち、仕事を通して自分も成長できると思いました。また会社の雰囲気も良く福利厚生がしっかりしていたので、入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

基本的に体力仕事で大変です。個人で仕事をするのではなく職場のチームワークが大事な仕事です。コミュニケーション力や気遣いを大切に、仕事をしています。

Q. これからの目標を教えてください。

副班長になったばかりなので、周りを見て的確に指示ができるようになりたいです。また、仕事を段取りよく進めるために先を読んで考え行動できるようにしたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

自分がどんな仕事をしたいのかを考えてから就職先を決めることで、納得できる就活ができると思います。一人で悩まないで友人や家族に相談することも大切だと思います。

インタビュー：株式会社岩手ファーム 井上 ほのか

株式会社岩手ファーム

〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7

URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

岩手のうまいビールを世界に～内館さんの挑戦～
株式会社ベアレン醸造所 内館 康喜さん



生まれも育ちも盛岡の内館さん。大学時代は英語を学び、卒業後ベアレンに入社しましたが、方向性の違いを感じ一度退社。その後は塾の講師をしつつ、貿易の資格も取得しました。海外にビールを展開したかったベアレン。そこで英語・貿易に詳しい内館さんに上司から熱いラブコールがあり再入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

ベアレンで製造するビールや果実酒をアメリカを中心とした海外に輸出する仕事をしています。仕事をしていくなかで良かったと思うこと、それは実際に海外へ行き、現地のスーパーでベアレンビールが棚に並んであるのを見た時で、それはとても喜ばしい瞬間でした。その反面大変なことも。世界196カ国ある中で引き合いを受ける国は限られていますが、国によって求められる書類などが変わるので、その対応にはものすごく神経を使います。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

なんと以前の私はビール嫌いでした。でも大学在学中に飲んだベアレンビールのおいしさに驚き「ビールにも味があるのか！」とビール好きになりました。その後、就職活動で数社から内定を頂きましたがベアレン醸造所を選びました。ベアレンを選んだのは、会社の雰囲気や仕事内容が面白そうと感じたからです。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社当時は、泥臭く100発投げ1発返って来れば良いという信念でメールを送り続けていました。するとオーストラリアの会社から1通の返信が。なんとこれが実際の取引に繋がりと、自分の初実績になりました。今でもとても印象に残っており、とても自信になりました。このようなガムシャラな気持ちが大切だと私自身学びました。

Q. これからの目標を教えてください

将来の目標として、世界中のお客さまにベアレンビールを知ってもらいたいと思っています。その中でファンになっていただいた方に実際に工場に来ていただき、出来立てのビールを飲んでほしいです。私の野望は……。盛岡の地でドイツから輸入した機械で、ドイツスタイルのビールを製造しているベアレン。ビールの本場ドイツにベアレンのビールを輸出し、現地の方に味わっていただきたい！

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

人より強い特徴（武器）など自信を持って周りに語れるものがあることが大切です。特徴を究めるためには沢山の努力が必要不可欠です。そして物事を究められる人間はとても負けず嫌いであり、何事にも耐えられる忍耐力があるといえます。武器を身に付ける過程で仕事をしていく際に必要なものが必ず身につきます。

株式会社ベアレン醸造所
〒020-0061 盛岡市北山1-3-31
URL <https://www.baerenbier.co.jp>

愛情と観察力と地道さでヒナを育てる。
株式会社岩手ファーム 釜崎 和彦さん



盛岡の農業高校で、農業畜産関係の就職を希望していた釜崎さん。盛岡市内で畜産関係の仕事を探していたところ、地元の養鶏場「岩手ファーム」に縁あって、入社。現在は育雛部という部署で、健康で、良質なたまごを産める鶏を育てることを目指して働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

たまごを産む鶏のヒナを育成する部署で働いています。現在は次長として、メンバーをまとめながら、ヒナの飼育をサポートする仕事を担当しています。具体的には生まれて1日目のヒヨコを鶏舎に受け入れ、成長に応じてヒナを移動、そしてたまごを産めるくらいまで育ったら、集卵施設のある成鶏農場へ出荷します。出荷後は鶏舎の洗浄と消毒業務を行います。他に設備や機械などのメンテナンス、環境整備として草刈りなども行います。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校では農業のことを勉強していました。自分の母親が畜産会社に勤めていて身近だったことから、将来は食品製造や畜産関係の仕事に就きたいと思っていました。盛岡で就職活動をしていくなかで、出会ったのが地元で養鶏場である、「岩手ファーム」でした。鶏やたまごに関しては、あまり知識がないところからのスタートでしたが、動物が好きだったので思い切って挑戦してみたいと思い入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社前にアルバイトを経験したのですが、かなり体力を使う仕事だと思いました。そして、ヒナを育てることは単純ではなく、精密さが要求され、とても奥が深いと感じています。これまで飼育管理を任された時期がありましたが、季節の変化とヒナの成長を見ながら、鶏舎内の温度、空気の流れ、光（灯り）、エサ、水を精密にコントロールしていくスキルは、愛情と観察力、地道さを積み重ねていくことが必要だと思いました。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

上司や飼育担当者から、鶏舎洗浄できれいに仕上げてくれたと評価をもらったときです。自分の仕事は会社の中でも縁の下力持ちのポジションで、特に鶏舎の洗浄は細菌の繁殖を防ぎ、ヒナが快適に過ごすための重要な仕事と自負しています。糞やホコリにまみれながら、特に真冬は寒さに耐えながら洗った鶏舎を、チームのメンバーに喜んでもらえたとき、次もがんばろうという気持ちになります。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

自分の住んでいる地域をきれいにしようという人が多いのではないかと思います。私の住む近くに小川が流れ水芭蕉が生息している場所があるのですが、地域の方々で桜を植えたり清掃や草刈りをして「水芭蕉公園」と名付け、憩いの場にしています。さんさ祭りやわんこそば、岩手山などおすすめはたくさんありますが、住んでみてわかる、きっと名もない隠れた良いスポットが、あちこちにあるんじゃないかな。

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

“良いたまご作り”のため、現場で働く社員をサポート。それが終
株式会社岩手ファーム 伊藤 安奈さん



盛岡の高校を卒業後、地元での就職を希望していた伊藤さん。地元で行われている企業説明会に、積極的に参加していました。参加していた中で、現在の職場「岩手ファーム」に出会い、2012年に入社しました。持ち前の明るさと笑顔で社員から親しまれています。入社時から、総務部で働いていて、社員の仕事が楽になるにはどうすればいいかを心がけながら働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

本社事務所勤務で労務全般を担当しています。給料計算や入社時・退職時の手続き、健康診断の実施管理、社員の作業着類の発注管理などです。また、地域の学校や取引先からの農場見学の準備や対応、社内イベントの企画運営を行っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

社会人になる前の事務職のイメージは、「オフィス内で個人個人が自分の仕事だけに専念している」でした。しかしここでは、デスクに向かうだけでなく、農場や工場に出向いて仕事の状況を見たり、担当者とやりとりしたりと、机以外で仕事することも多いことがわかりました。また、各部署が連携を取りながら、良いたまご作りのために自主的に行動していて、それをサポートするのがわたしたち総務の役割だと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

農場見学で来場した小学生に、たまごについて興味を持ってもらったことです。毎年、見学や体験就業、インターンシップで学生を受け入れています。特に小学生には「ニワトリと触れ合う」「たまごの色や大きさ、鮮度のちがいを知る」などの体験を実施しています。大人が思いつかないような質問が飛び出たり、夢中になって鶏を観察している姿を見ると、驚きとともに達成感が湧いてきます。

Q. これからの目標を教えてください。

社員が健康で安全に仕事ができるような環境づくりを目指しています。そのために3年以内に第一種衛生管理者の資格を取得することが目標です。同時にこれまで以上に現場で働く社員の様子を知り、どんなことに困っているか、どんなフォローが必要かを考えて上司に提案し、実践していきたいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

私たちの会社がある盛岡市生出地域は、自然が豊かで水が豊富な場所です。岩手山と姫神山の間に緑一面に広がる田園と牧草地。岩手山に降り積もった雪が千年の時を経て湧いてくるといふ言い伝えがある「生出湧水」など、癒されスポットが満載です。また地域の住民と企業・行政が力を合わせて、地域を良くしていこうと取り組んでいます。私たちの会社も日本一美しいたまご農場を目指して、植樹や緑化に力を入れています！

インタビュー：総務部 志田 健斗

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

匠になることを目指して

盛岡セイコー工業株式会社 小野 雄太さん



地元の工業高校に入った小野さんは、山岳部に所属していました。天候の変化について学び、体力作りに全力で取り組んだ結果、インターハイに出場出来ました。学業では旋盤の機械を使って歯車やネジを作っていて、手先も器用な方でした。卒業後は手先が器用なことや工業高校だったことから、地元で物作りの仕事に携わりたいと思い、現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

2020年に新しくつくられたグランドセイコースタジオ零石で、高級機械式時計の組立作業を行っています。作業内容は、ケースに入れる前のムーブメント(機械体)の状態まで、殆ど全ての工程を一通り組立てています。時計の種類によって組み方が違う為、それぞれの組み方を頭に入れ、傷一つ付かないよう、こまめに道具のメンテナンスをし、丁寧に組み立てています。今は後輩を指導する立場になり、自分が苦労した事も教えて早く成長できるような教え方を心がけています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

工業高校で培った手先の器用さを活かし、地元で働きたいと思っていた時、セイコーのホームページを目にしました。そこで、グランドセイコーの匠の物作りの姿勢や日本唯一のマニユファクチュールという、自社一貫製造で時計を作っているところに魅力を感じ、企業見学に行きました。そこで感じた会社の内部の綺麗さや自然の豊かさ、そして実際に工房で見た匠の物作りへの真剣な姿勢に惹かれ、自分もこの場所で匠のようになりたいと思い、入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

自然が豊かで、自然を良い状態で保持しているところや、社員同士が仲良く、職場の雰囲気も良いことに感じました。休憩時間等で社員同士が気軽に話し合っている場面や、プライベートで趣味が同じ人同士や同期、同じ職場の人と遊ぶ等、会社内外で親しく付き合えるのは本当に嬉しいと思います。その為か、職場の雰囲気も良く、休暇も取りやすいことも良いところの一つです。仕事をしていて感じることは、皆が物作りに真面目に取り組んでいることです。高品質にこだわり、お客様に喜んで頂く為の、物作りへの真剣さが強く感じられます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

2年前までは今の組立て工房ではなく、技能育成塾という職場に所属し、技能五輪大会の時計部門に出場した経験があります。先輩が金賞を取っていて、自分も金賞を目指していたのですが、銅賞になってしまい、とても悔しい思いをしました。今の職場では、職場長に分からない事を聞くと必ず資料を見せて下さり、どんな事もしっかり教えてくれる姿や、匠の、諦めずにこだわりや熱意をもって日々作業に取り組む姿がとても印象的で尊敬しています。

Q. これからの目標を教えてください。

匠や先輩方のように、頼られる人になりたいです。その為に、いわて機械時計士1級の合格を近い目標とし、次の級の1Wマイスター合格を将来的な目標として頑張ります。職場長のように、質問された時に詳しく丁寧に答えられるよう、知識や技術も身に付けていきたいです。作業面では、1ロット100個を一つ一つ丁寧に作業することを目標にします。ある一つの時計が、自分にとっては沢山あるうちの一つですが、お客様にとっては唯一の時計なので、そのことを常に意識して手を抜かず作業し、見本となるような、正確さ・早さ・綺麗さも心がけていきたいです。

インタビュー：盛岡セイコー工業株式会社 安ヶ平 結李加

職場で働く社員や外部のお客さまと連携し卵の安全性を確保する
株式会社岩手ファーム 山本 学さん



盛岡の高校を卒業後、地元で働くことを決めた山本学さん。当時就職するにあたってどこが自分に合うのかを悩んでいた際、様々な会社や企業から求人票が高校へ送られてきました。その中で、近くにある会社を調べたら、子どもの頃からよく食べていた卵を作っている所が岩手ファームだったのでこの会社を選びました。2006年に入社してから現場の経験を豊富に積んだ上で、現在は熱心に元気に品質保証室に関わる仕事を担当しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

品質保証室で卵の安全性を確保するために様々なデータを揃えています。また、外部のお客さまからの審査や監査などに対応しており、岩手ファームで製造した卵はいいものということを証明できるような仕事です。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社してから10年間現場で卵の包装、選別の仕事をしました。今、品質保証室という部署に入って3年目です。実際、卵を作っている現場はほとんど自動化されていて人間がやるのは検品の作業だけになりました。入社前には、鶏が産んだ卵を人の手で取っているイメージでした。ですが、ほとんど機械化されていることと卵を集荷するには様々な工程が必要ということを入社してから感じました。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

卵の検品・包装などの作業を日々行っている中で、お客さまから感謝の手紙をいただいたとき、今自分たちが関わっている仕事で喜んでもらえていることがうれしく感じ、もっと頑張ろうと思うことができました。さらに、最近、完全週休2日制となりました。休みが増えたことによってリフレッシュして仕事も楽しく感じ、集中力が向上しました。

Q. これからの目標を教えてください。

今までやってきたことです。つまり、食の安全を守ることです。お客さまが安心して食べられる卵を提供するように、さらに頑張っていきます。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

岩手ファームは盛岡市生出（おいで）地域にあり、自然豊かで夏も涼しい岩手山麓の広大な土地を生かしたゆとりのある所です。岩手山に降り積もった雪が溶け、湧き出ている美味しいお水を鶏も飲んで元気に育ち品質の高い卵を産むことができます。さらに、岩手ファーム周辺に桜を600本植えており春になるととても美しいです。

インタビュー：ニン ティ タオ

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

腕時計部品の試作の経験をもとにマイスターへ挑戦！
盛岡セイコー工業株式会社 佐々木海斗さん



北上市出身で地元の中学校を卒業後、盛岡市内の高校に入学しました。高校では商業科を専攻し、全商簿記、情報処理検定等の取得に努め、部活動では小学校から続けているサッカーに3年間打ち込みました。高校卒業後は県内に就職したいと考え、2016年4月にSEIKOの腕時計を製造している会社である盛岡セイコー工業株式会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

試作職場で主に腕時計の開発段階の試作部品を製作しています。試作部品なので作業手順や治具（じぐ＝工作・作業用の補助工具）が全て揃っているわけではなく、図面の指示通りに加工できるように手順や治具を検討し、必要な治具は自ら製作し部品製作に利用しています。現在は、番車と呼ばれる時計部品の歯割と組立加工を担当しています。歯割加工は、円盤状の金属材料を切削して加工する仕事です。番車は、主に大きな歯車と小さな歯車（かな）の二部品を組み立てて製作します。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校の担任の先生に進路相談で「手に職をつけてみたらどうだ」と今の会社を勧められたことがきっかけです。時計には元々興味があったのですが会社見学の際によりその魅力に惹かれました。特に腕時計部品の製造から組み立てまで一貫して行っているところや、高級な機械式腕時計は職人が手作業で組んでいるということが印象に残りました。組みあがった機械式腕時計のムーブメントを見たときは感動し、是非この会社で働きたいと思い入社を決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

現在の職場に配属されたときはたくさんの種類のマシンがあることに驚きました。マシンに触れたことがなかったので、うまく扱えるか不安でした。ですが、先輩方から丁寧な指導をしていただいたこと、そして自ら練習を繰り返したことで日に日に上達していくのが実感でき、段々と不安が楽しさに変わっていきました。また、ほとんどの作業を自らが考えて治具を製作するので頭を使います。それも今の仕事の面白いところだと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

数年前に配属されて初めて関わった大型の試作案件です。機械式腕時計の試作ということもあって部品点数も多く、品質規格も大変厳しい要求でした。加工しては規格を満たせないということが何回もあり、その対応策を先輩方と何度も議論し、何とか解決できました。試作が終わり組みあがったムーブメントを見たときはすごく達成感を感じました。また、この案件で自らのスキルのレベルアップと業務の多能化ができ、自分の成長にもなりました。

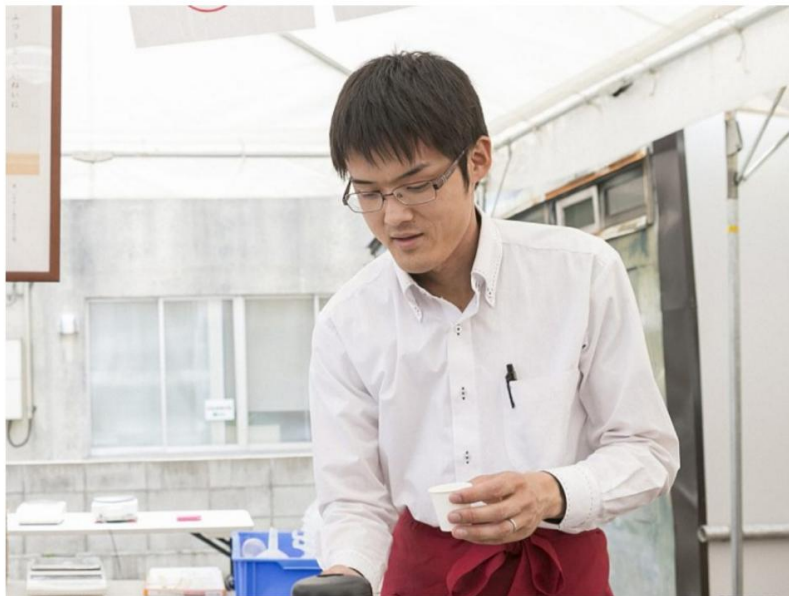
Q. これからの目標を教えてください。

今現在の最終目標はマイスターになることです。マイスターとは、社内の制度で優れた能力を持つ方に与えられる資格です。職場に配属されて5年近くになりますがまだまだ知らない知識や業務が多くあるため、まずは職場で担当している業務のスキルアップと、様々な業務ができる多能化を目指します。そのためには、新たなことにも挑戦し、資格などの取得にも努め、目標を達成できるように、自らにプラスになることは何でも身につけていく思いで業務に励んでいきます。

インタビュー：熊谷 亮

調味料開発で岩手を元気に！

株式会社浅沼醤油店 稲田 喜隆さん



大阪から大学進学のために岩手に来た稲田さん。岩手県内の大学で地域振興などを勉強し、岩手を住みやすく思い、県内を視野に就職活動を行いました。小売業で5年勤務したのち、縁あって現在の会社に転職しました。調味料開発を通しての地域貢献を目指しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

OEM（OEM＝発注企業から受託し、その企業の名前やブランドの製品を生産すること）での調味料開発を主に行っています。お客様から依頼を受け、希望に合った商品を提案する仕事です。流れとしては、依頼を受ける→目標となる品（ベンチマーク品）の分析を行う→自社の持つ原料や設備でできるように落とし込む→処方を作成し試作する→お客様と相談し改良等する→見積り→本製造となっています。安定した質で製造可能で、保存性なども担保したうえで、お客様の要望にこたえることを意識しておこなっています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

自社の魅力としては、お客様の依頼に対してできるだけ応えようとするところや、やりたいことややってみたいことへの挑戦を否定せず、自由にやらせてもらえるところだと感じています。特に、他社ではお断りされてしまったお客様の依頼をなんとか実現しようという雰囲気は、自社の魅力だと考えています。また、仕事を通して商品を製造することや、生産者の方々と協力して対等な立場で仕事を進めることで、地域への貢献ができていると感じます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社した年のことですが、岩手町の農家さんから「『いわて春みどり』というキャベツの消費向上のために、ドレッシングをつくれませんか」という依頼がありました。私も関わらせていただき、農家さんと市販の商品を味見して方向性を考え、それをもとに試作をしました。その後岩手町や県庁、グルメフェスなどで試食してもらいアンケートを取り、商品化にいたしました。携わった方々の団結力がとても強く、短期間のうちに様々な課題を乗り越えて成果を出すという経験をさせていただいたので、今でも印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

大きな目標とはなりますが、岩手や盛岡、地元に残りたいと思う人が残れるような環境づくりです。特に、経済的な面や就職する場がないことを理由に残れない人も多くいると感じていますので、自社での働きを通して、依頼する方や生産者の方々が利益を得られ、仕事の創出などに繋がればと思っています。近い場所からの目標でいうと、まずは自社を大きく成長させることによって、地元の人が働ける環境をつくりだしたいと思っています。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡では、中心地であれば基本的には自転車ですぐ生活できる範囲でもあり、商業施設などにも困らず、少し足を延ばせば自然にも触れあえるという、ちょうどいい規模感がいいところだと思います。また、盛岡に限らずですが、町もきれいで、子供から大人まで、県内で満足できるほど近場で様々な体験ができることや、食べ物おいしく、産直などでとても高い品質のものを、お手頃な価格で食べることができることも、良さではないかと思っています。

インタビュー：株式会社浅沼醤油店 小野 透和

“当たり前”を大切に。誠実なものづくり
株式会社浅沼醤油店 立花 菜桜さん



県内の高校と短期大学で情報処理を学び、卒業後は会計・経理の仕事をしていた立花さん。その後、幅広く様々な経験を経て、「集中して一つのことに取り組むことが好き。そんな仕事に就きたい」と考えました。そして興味関心を軸に仕事を探し、もとより食に興味があったことから現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

弊社は主に調味料の製造・販売を行っており、立花さんは工場で充填作業を中心に担当しています。食品製造における充填作業とは、瓶等の容器に調味料を詰める工程なのですが、安全な商品を製造するために、機械の部品チェックや衛生的な温度管理、異物の混入を防ぐことなど、最善の注意を払いながら商品を製造しています。「最善の注意」が当たり前になっている」という立花さん。「かもしれない」を大事にすることが安全な商品づくりにつながっています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

転職活動中、「興味関心を持てる仕事をしたい」と仕事を探していた中で、もとより食に興味があったので調味料製造業の弊社の仕事に興味を持ちました。また、地元企業であることにも魅力を感じました。黙々と一つのことに集中して取り組むことが好きだったため、毎日違う仕事をするよりも、毎日着実に仕事ができる環境の方が自身に合っていると感じます。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

とてもコミュニケーションが取りやすく、常に話しやすい環境です。例えば、分からないことや不安なことがあるときは、先輩社員に一度教わったことを質問したとしても教えてくれます。これは話しかけやすい環境があるからこそ、確認しやすく、そしてそれは仕事覚えの早さにつながっていると感じます。また、先輩方の丁寧な指導や、忙しい時でもきっちり仕事をこなす真面目で誠実な姿勢を尊敬しています。

Q. これからの目標を教えてください。

まず第一に「覚えたことを忘れずに、継続すること。毎日着実に充填作業を行うこと。」を大事にしていきたいです。安全な商品を製造するために、機械の部品チェックや衛生的な温度管理、異物の混入を防ぐことなど、これからも最善の注意を払いながら商品を製造していきたいです。また、スキルアップとしてフォークリフトの運転免許取得を考えています。製品に使う原料や資材などを倉庫で荷下ろしする際に、自分も操縦できたら効率アップにつながり、仕事の幅も広がられます。会社の役に立つことは結果として自分の力になるのではないかと思います。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡は程よく都会で、程よく自然があり、近場で楽しめる所が多いです。特に食が美味しいのでご飯屋さんに困らないですね。麺類の店が多く、ラーメンや、焼肉屋さんでは必ず冷麺を食べる程美味しく、麺文化が盛んな印象です。また、気候が穏やかなところもいいところです。趣味がドライブなのですが、穏やかな気候はありがたいですし、さらに盛岡は県内県外問わず盛岡から東西南北へ、ドライブが行きやすく気に入っています。

インタビューー：株式会社浅沼醤油店 吉田 成美

株式会社浅沼醤油店
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-8-2
URL <https://www.asanumashoyu.co.jp/>

学びを活かす！！

盛岡セイコー工業株式会社 吉田 隼人さん



盛岡市出身の吉田さん。地元の工業高校を卒業後、より工業系技術を学びたいという思いから、短期大学に進学し、2年間モノ作りについて学びました。その後自分の学んだ技術を活かしたいという思いから現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

NC工作機械のマシンオペレーターです。主に製造しているのは、機械式腕時計の地板体という部品です。地板体という部品に数百種類の部品を組み込んでいくため、地板体は機械式腕時計のベースとなる部品です。そのため精度には特に注意して業務を行っています。また、最近では新しい仕事を学びしっかりと身につけようと頑張っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

弊社に入社したきっかけは、高校と短大で5年間学んだ事を活かして行きたいという思いで、岩手県内の就職活動に励んでいました。高校時代に弊社に工場見学をしたことがありその際時計製造への興味とモノづくりへの姿勢に惹かれていたことを思い出し、就職活動中に再度工場見学に参加し、ここで働けたら自分の技術を少しでも活かしていけるのではないかと思い入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

弊社は腕時計を製造している会社で、精度は世界トップクラスを誇っています。その精度を生み出しているのは部品一つ一つの精密さといえるでしょう。この精密さは今まで学校でもモノづくりをしてきた際にはあまり気にしてこなかったことで、今まではモノとして完成させしっかりと動いてくれれば良いと思い自分たちで毎回調整しながら作っていましたが、弊社では高い精度の部品製造を求められるようになったため学生時代との違いを実感しました。

Q. これからの目標を教えてください。

現在新しい業務を学んでいる最中で一人だけでは何かあった時対処できないことのほうが多いので、自分に不足しているところの知識や技術を上司や先輩から指導していただき、現在の職場の仕事を先輩に頼らず、一人でも動かせるようになりたいです。そして、先輩ができた際に、わかりやすく教えられるように、指導面もレベルを上げていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動中の学生の皆様には、給料や年間休日を確認するだけではなく、福利厚生を調べたり、会社見学や資料集めをしっかりとしてほしいです。出来ればインターンシップに参加し自分が就職したい会社の雰囲気を感じ自分にあっているかの確認をしてほしいです。また勉強も大切ですが、学校内外の行事への参加をしてみて、普段やらないような経験することも大切で今後活かせる時がくるかもしれません。最後に就職すると友人との時間が減ることもあるので友人との時間を大切にしてください。

インタビュー：盛岡セイコー工業株式会社 安ヶ平 陸

岩手ファームの卵にかける思い
株式会社岩手ファーム 伊藤 智久さん



アルバイトとして岩手ファームに入社した智久さん。その後、正社員になり働いています。現在、鶏舎を管理する仕事を行っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

鶏舎の管理や修理を行っています。鶏舎でどこか壊れているところがあれば、主に私が修理を担当しています。ほかには、草刈りや除雪などの環境整備も行っています。現在は班長として、一緒に働く社員をサポートしながら、健康なニワトリが育つ環境づくりを意識して働いています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

以前から岩手ファームの卵を食べており、それが会社を知るきっかけになりました。私はアルバイトから正社員になったのですが、社員の方は近くの地域の人達が多く顔見知りの人がたくさんいて、なじみやすいというもあり、岩手ファームへの入社を決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

当社では、雛の状態から成鶏になり、出荷するまで管理しているので、この部分はほかの養鶏場ではあまり無い特徴だと思います。これができる理由として、岩手ファームの規模が大きいところにあると思います。

Q. これからの目標を教えてください。

第一の目標として、役職を上げていって、働きやすい環境にしていきたい思いがあります。働く方々が気持ち良く働けるような仕事現場にしていきたいです。ほかにも、会社全体の卵の生産率を上げていき、岩手ファームの卵のおいしさを広めていきたいと思っています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

自分が好きな仕事をするのがベストだと思います。「好き」や「やりたい」というモチベーションは大切ですが、一度、自分に合っているかどうかという視点で仕事内容を確認してみてください。資格があればあるだけ仕事をする上で使える場面が出てくるので、若いうちに取得しておくのが良いと思います。

インタビュー：株式会社岩手ファーム 小林 翔太

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>

地元ビール会社をデザインで支える

株式会社ベアレン醸造所 山崎 瑠佳さん



秋田県出身の山崎さん。建築関係の勉強をしている中でデザインの分野に興味を持ち始め、デザインが学べる大学に進学しました。大学卒業後、初めは広告などを扱うデザイン会社に就職し、その後元々お酒好きということもあり酒造メーカーでデザインの仕事をしていました。結婚を機に岩手に移り住み、縁あって現在の会社に入りました。

Q. どのような仕事をしていますか？

入社以来営業部直販課に所属し、大学で得たデザインの知識を生かしグッズ・チラシ・POPなどのデザインを担当しています。それだけでなく「父の日」や「お中元」などそれぞれの季節に合わせた企画の考案、工場売店にいらっしゃるお客さまの対応などお客さまと直接関わって販売する、いわゆる「直接販売」の仕事もしています。その一環として、現在はコロナ禍で少なくなっていますが、各種イベントの開催は直販課が取りまとめておこなっています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

もともとお酒好きだったため、前に働いていた酒造メーカーではお酒を扱うお仕事の楽しさや面白さを感じました。結婚を機に岩手に移り住み県内で仕事を探していたところ、地元根差すビール会社であるベアレン醸造所に出会い、お酒関係ということもあり興味を持ちました。工場前でのイベントも多く、通りがかりでその様子を見かけ、会社の雰囲気が目に見えて分かりやすかったというのも入社のきっかけの一つです。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

イベントなどのイメージ通り、元気で明るい雰囲気の会社であると感じています。親睦会や懇親会などが多いので、普段の業務ではあまり関わらないスタッフとも仲良くなれます。お酒の席ですので、普段見ることのない意外な一面や新しい発見があるのもベアレンの良さの一つではないかと思います。育児休職制度を利用した経験があるため、そのような女性のための子育て支援の手厚さも良いところであると感じています。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

営業部では、自分のアイデアをイベントや商品の企画に取り入れることができます。15周年の際に自分のグッズデザインが商品になったことが印象に残って嬉しかったことです。イベントの運営に関わったことも良い経験となり印象に残っています。入社当時は人前で話すことが苦手でしたが、工場前でのイベントなど大勢の前に立つ機会が多かったため以前よりも度胸がつきました。最初はとても緊張しましたが、スタッフのフォローやお客さまの温かい雰囲気のおかげで楽しむことができました。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

秋田に比べて岩手、特に盛岡は都会だと感じる点が多くありました。でも、都会だけではなく豊かな自然もたくさんあるので暮らしやすい地域だと思います。家族で出掛けることのできるレジャースポットが多いのも盛岡の良さの一つだと感じます。日々のお仕事でお客さまやお取引先と関わる中で、岩手県民や盛岡市民の礼儀正しさや人柄の良さを感じることが多いです。そういった素晴らしい市民性も盛岡の良いところであると感じています。冷麺やじゃじゃ麺など盛岡には美味しい麺グルメがたくさんあるので、麺好きにはたまらない地域だと思います。